

事業名

集え！未来を担うひのっ子たち 日野市の子育てのランドマークづくりプロジェクト

R4予算額(複数年事業の場合は、想定する各年及び総額)

R4 5,667千円、R5 32,397千円、R6 10,000千円 総額48,064千円

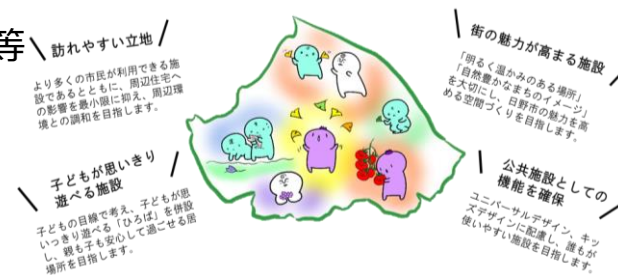
事業目的・課題

○事業目的

- ・ 妊娠期から18歳まで切れ目なく支援する子ども・家庭・地域の総合支援拠点として（仮称）子ども包括支援センターを整備。その居場所機能として「子育てひろば」「中高生支援拠点」を整備するために、市民とともに話し合うワークショップを展開する。

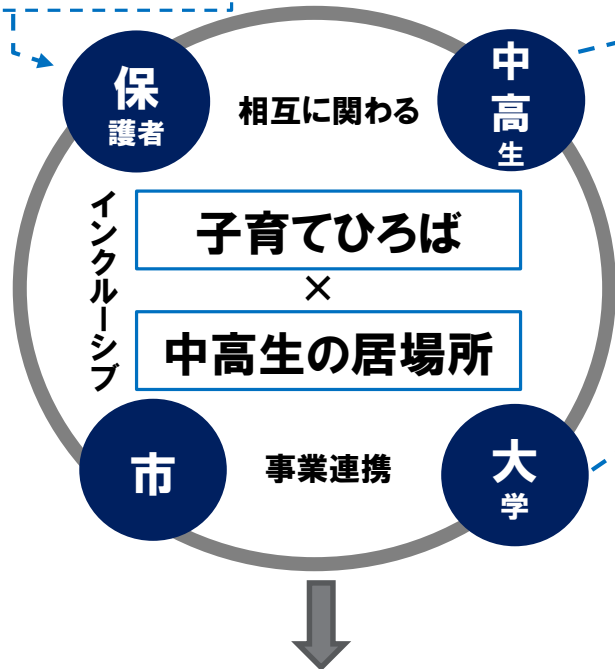
○背景

- ・ 子育ての孤立化による児童虐待の急激な増加
- ・ 安心安全、リフレッシュ、なんでも話せる、身体を動かしてのびのび遊べる、乳幼児とパパ・ママが集える大規模な子育てひろばの必要性
- ・ 中学校を卒業した後の子どもへの支援が不足。高校中退やひきこもり等、困難な状況にある中高生世代が相談できる場が整備されておらず、結果的に個別の支援につながっていかない。



事業イメージ

乳幼児の保護者



補助スタッフ として関わる

③プログラム 例

- ・実践女子大学による子育てひろばでの遊び支援
- ・子育てひろば、中高生支援における地域交流・多世代交流の支援 など

「安心安全」「リフレッシュ」「なんでも話せる」子育てひろば・中高生の居場所について、市民、実践女子大学、中高生とともに ①意見を出し合う

子育てひろば、中高生支援の居場所の ②環境整備【備品など購入】

| 年度 | 主な取り組み |
|------|----------------|
| R4年度 | ① 意見を出し合う |
| R5年度 | ② 環境整備【備品など購入】 |
| R6年度 | ③ プログラム実施 |



【備品例】ウレタン製の築山 誰でも思い思いに過ごすことができる。上ったり下ったり、座ったり、会話をしたり。人と人をつなぐ役割をします。



○赤ちゃんから18歳までみんなが集える子育ての総合支援拠点に向けて！

- ・インクルーシブな子育てひろば（地域の身近な遊び場）の新設するために。
- ・中高生の悩み相談機能や、就学・進学について学べる中高生専用の居場所を新設するために。

○大学生、中高生、子どもやパパ・ママ、学生の意見を聞こう！

どんな子育てひろばにしたいか、どんな中高生専用の居場所にしたいか みんなでイメージを膨らませよう

○ワークショップの開催

R4年度中に5回程度

○ワークショップを踏まえて 子育てひろば、中高生の居場所の空間を図面化する。

どんな遊具などをどのように配置するか。

○中高生専用の居場所の設置に向けたプレプログラムの実施（R4年度中）



スケジュール

| 具体的な取組 | R3(2021)年度末 | 年次計画 | | |
|--------------------------------|----------------------------------|--|---------------------------------|---------------------------|
| | | R4(2022)年度 | R5(2023)年度 | R6(2024)年度 |
| 大学と連携した（仮称）子ども包括支援センターの居場所機能整備 | 特になし（虐待対応、母子保健、SSWの組織統合と事業連携の開始） | 【居場所のデザインとプログラムづくり】大学、中高生、親（乳幼児）を含めた市民WSの実施等 | 【居場所の環境整備】子育てひろば、中高生の居場所の備品など購入 | 【居場所のオープン】運営開始、オープニングイベント |